


ふじしろ政夫と共に市政を変える会ニュース

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50
Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

2008年8月号 
TEL & FAX 047-445-9144
ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

アジアの中での日本の立ち位置を！

グローバリズムが世界をかけめぐり、マネー投機でガソリンの価格は毎月うなぎのぼり…。小麦・トウモロコシなど食糧価格も世界で値上がりしています。今の状況を分析する一助けになればと、日総研のシンポジウムの様子をお伝えします。 ……………(市議会議員 ふじしろ政夫)……………

＜アジア太平洋への新しい視界＞と題するパネルディスカッション(第7回日総研フォーラム)がありました。姜尚中、アーサー・ミッチェル、寺島実郎、三人による討論は世界と日本の現状を冷静に分析し、そこから日本自らの立ち位置を明らかにするものでした。



▼元アジア開発銀行のカウンセラー、ミッチェル氏は「知的所有権も保護されないアジアの中で法治国家として成熟している日本の役割は、

Rule of law をアジアに確立していく為に働くことです」と語りました。▼姜氏は「明治以降、海の道(交易国家)でなく陸の道(大陸への侵略)を選択し1945年の破局を迎えた日本は、その後北東アジアに自ら主体的に向きあってこなかった」「今、六カ国会議の中で北東アジアに対して日本がどうかかわるのが問われている」と、日本の課題を指摘しました。▼寺島さんは、パネルディスカッションを総括する形で「アフガン、イラクの『3兆ドルの戦争』で4670人の米兵が死に、イラク人は15万人以上も死亡しました。その結果アメリカの指導力は確実に弱まっています。米ドルはユーロに対して70%も下落しました」「洞爺湖サミットは、エネルギー問題、食糧問題への構想すら出せず、G8よりもインド・中国など他の国々のほうが輝いている世界の流れを示す結果となりました」とアメリカ一極集中でなく、世界が無極化へと進んでいる現状を語りました。

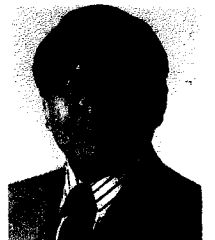


さらに、日本の状況については「エネルギー

食糧を買わなければやっていけない国をつくってしまった」現状を鋭く批判しました。

「化石燃料 20,3 兆円 食糧 6 兆円＝26,3 兆円の輸入財源を作るため、自動車 17,7 兆円 半導体 5,2 兆円 鉄鋼 4 兆円＝26,9 兆円を輸出して帳尻を合わせている国、日本！食糧自給率は39%でしかなく、東京都より広い37万hの農耕放棄農地をつくり出している現状では、自立は出来ない」と

そして、「アメリカを通してしか世界を見ない日本、自分の頭で自分で考えることをせずアメリカの声を待っている日本では、これからの世界へ対応しきれない」。ユーラシア大陸における大中華圏、ロシア EU にどう対応していくかが問われている今、「アメリカとの関係を対等に持つと同時に、東アジアの中に日本の立ち位置を確立していく必要がある」と指摘しました。



具体的には、①アジアの中でアメリカを孤立させないようにする。②中国を国際社会の責任ある位置に置くようにする。③アジア太平洋の情報のセンターを日本につくっていく為に日本は積極的にその役割を果たしていく必要がある。と、今後の方向性が示されました。

野馬土手のある街……かまがや



小金中野牧には、多くの野馬が走りまわっていました。馬の水飲み場として分かっている場所があります。

貝柄山公園入口「捕込」の下に井戸があり、馬の水飲み場だったそうです。(M)

市民がコントロールする自治体とは

日本自治学会が催されました。

新藤千葉大教授のコーディネーターで、矢野上越市議会議員、西野明大教授、大川かながわ市民オンブズ代表幹事、浅野前宮城県知事によるシンポジウムでした。

矢野市議からは、合併後の“自治”をどうつくるかの問題意識から地域自治区における地域協議会の委員を“公選制(無報酬)”としたことが報告されました。ただ今年、二期目の公選では立候補する人々が少なくなって、これは住民の意識の問題なのか、仕組みの問題なのか課題として提起されました。

西野教授の監査委員の話の中で、「議員が監査委員になることの適否」が議論されました。出席者の全員が議員が監査委員になることの妥当性はないと指摘しました。

大川さんは、情報公開を使ったこれまでの市民オンブズの活動は、政務調査費や研修旅行といった市民の目線での小さな悪には鋭く批判してきたが、それを越えた大きな視点での大きな悪(税のムダ遣い)に対しては、対応しきれていないと、これまでの限界とこれからの方向性を語りました。

浅野さんは県知事時代の経験から“モンダの人”への批判を展開しました。「交際費は食糧費で処理するモンダ」「問題が起ったら黙っているモンダ」といった“モンダ”の対応では問題は一切解決しないこと。それ故「逃げたい、隠したい、ごまかしたい」といったことが出来ないシステムをつくる必要性を訴えました。シンポジウムでは、市民がコントロールする自治体をつくる為には、情報公開や参画のシステムを確立すること、そして議会の改革の必要性が再確認されました。



新藤宗幸さん

お知らせ

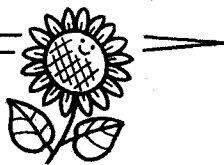
★ 合同納涼会

8月31日(日) 12:00～

市民の森キャンプ場 会費 大人1000円

★ 市民自治『自治基本条例』 1000円

8月27日(水) 18:30～ 中央学院大学



都市公社の“長期未収金”とは??

土地の先行取得の為の事業をしている鎌ヶ谷市都市公社の事業報告が出ました。

バランスシートをしてみると、資産は公有地と土地で約21億円、長期未収金が7億2千万円、負債部門は長期借入金約28億円となっていました。

東武鎌ヶ谷東口区画整理推進用地1億3千万円など13ヶ所の土地を、鎌ヶ谷市へ所有権を移転したときの未収金が7億2千万円あるのは、いかなものかと思われます。しかも市の一般会計のバランスシートでは、7億2千万円は欄外記載です



先般、千葉地裁で競売があり中部小裏の土地が落札されました(5/22)。

しかし7月になって落札業者から、残金の支払いをせず見送るとの意思表示があったとのこと……。またまた、崩れたままの斜面として不安だけがつります。豊かな斜面林を残す形で対応されていたならば、街づくりにもよかったし、今のようなことはなかったのでは……。悔やまれます。



2008 ピースサイクル

毎年“自転車”で平和・人権・環境保護を訴えてきたピースサイクル。2008年常磐線ルートでは、東葛7市(流山・柏・我孫子・松戸・鎌ヶ谷・印西・白井)を訪問、さらに下総基地へも申し入れをしました。

下総基地では、監理幕僚が正門前で対応。炎天下「騒音には努力している」「確実に分からないものは基地として正式に回答できない」と語っていたが、果して下総基地という大きな施設を預かる幕僚が、情報をその程度しか持っていないとしたら…大丈夫なのだろうかという不安すら抱いてしまいました。市民へより情報を公開する為、基地としても情報収集すべきなのではと思われました。



きょうどう事務所トライ ご案内

- * 法律弁護士無料相談 要予約 ふじしろ迄
9/27(土)・10/25(土)・11/29(土) 13:00～
- * 基楽会 毎週金曜日 13:00～